

県道有明大町線

高瀬橋西交差点の改良に関する

意見交換会

意見交換会
資料



令和7年1月26・27日

長野県安曇野建設事務所

本日の次第

1. 松本糸魚川連絡道路(松糸道路)の概要
2. 県道有明大町線(高瀬橋西交差点含む)の現状
3. 県からの提案事項
 - (1)意見交換会の進め方
 - (2)事業の優先度
4. 意見交換等

意見交換の主な対象

1. 松糸道路の概要 (1) 位置付け

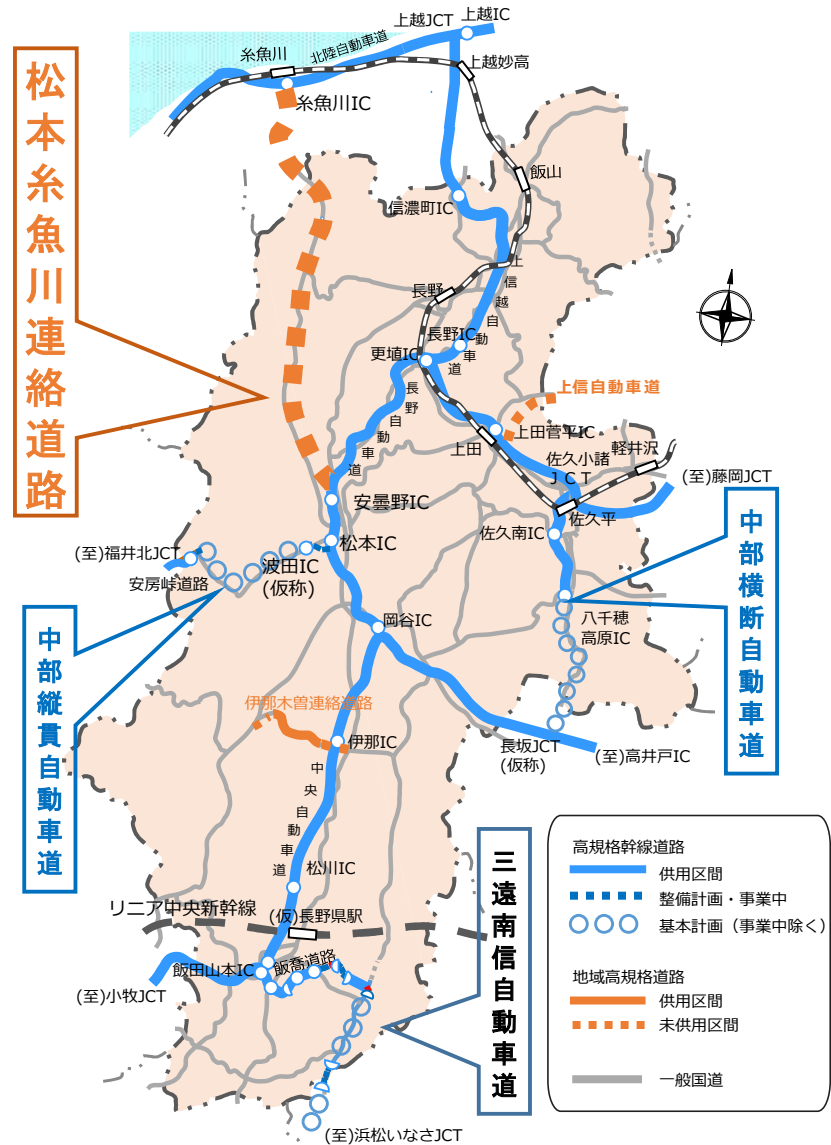
松本市～新潟県糸魚川市間(全長約100km)の地域高規格道路です。
 地域間の往来を便利にすることで、両地域及び沿線市町村における産業発展、
 生活基盤の強化を目指し、規格の高い道路を整備します。

地域高規格道路とは

- 高速道路のネットワークを補完する役割
- 自動車の通行機能として、
 路線全体で所要のサービス速度を
 確保できる構造の道路

期待される主な効果

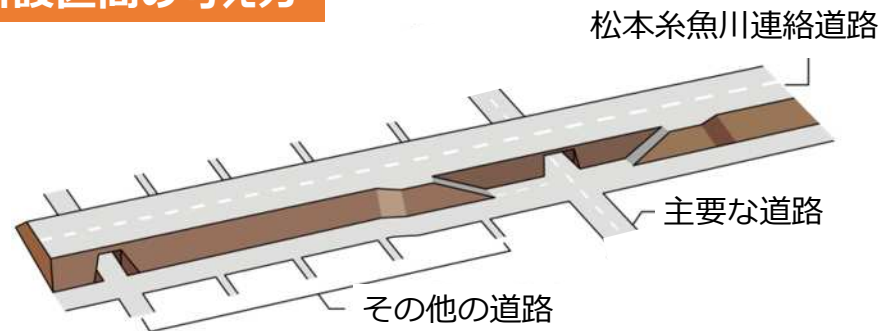
- 高速道路へのアクセス性の向上
- 安曇野IC周辺の渋滞の緩和
- 医療環境の充実・連携強化の基盤
- 災害への備えを強化
 (広域的な連携、代替路確保)
- 地域の産業や観光の発展



1. 松糸道路の概要 (2) 整備手法

新設区間、バイパスや現道活用区間を組み合わせ、松本～糸魚川間全体で、信号停止や渋滞を含め平均的に概ね60km/hで移動できるようにします。

新設区間の考え方

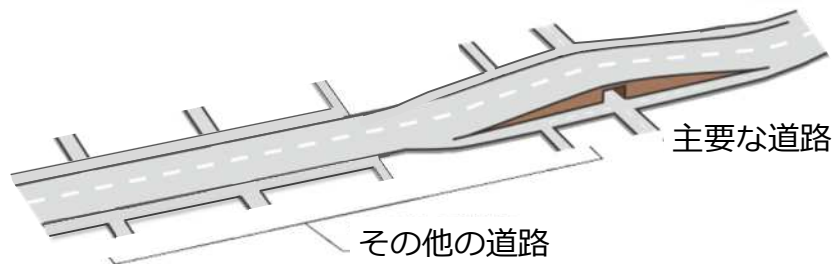


- 基本的に立体交差



全体で概ね60km/hで移動できるよう、組み合わせで整備

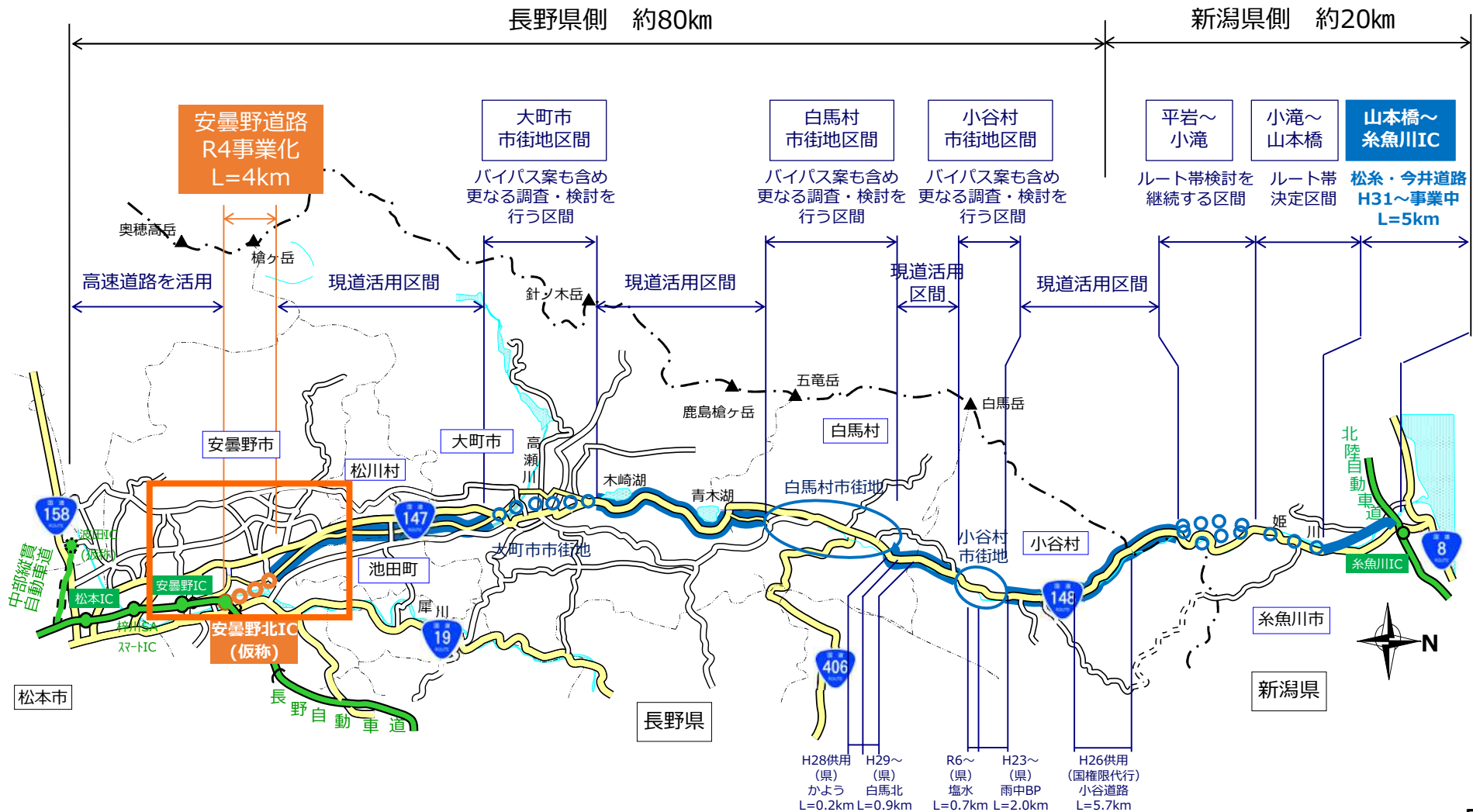
現道活用区間の考え方



- そのまま、もしくは一部改良
(追越車線の設置や主要交差点の立体化)
- 沿道からのアクセスは、サービス速度を確保できるよう集約

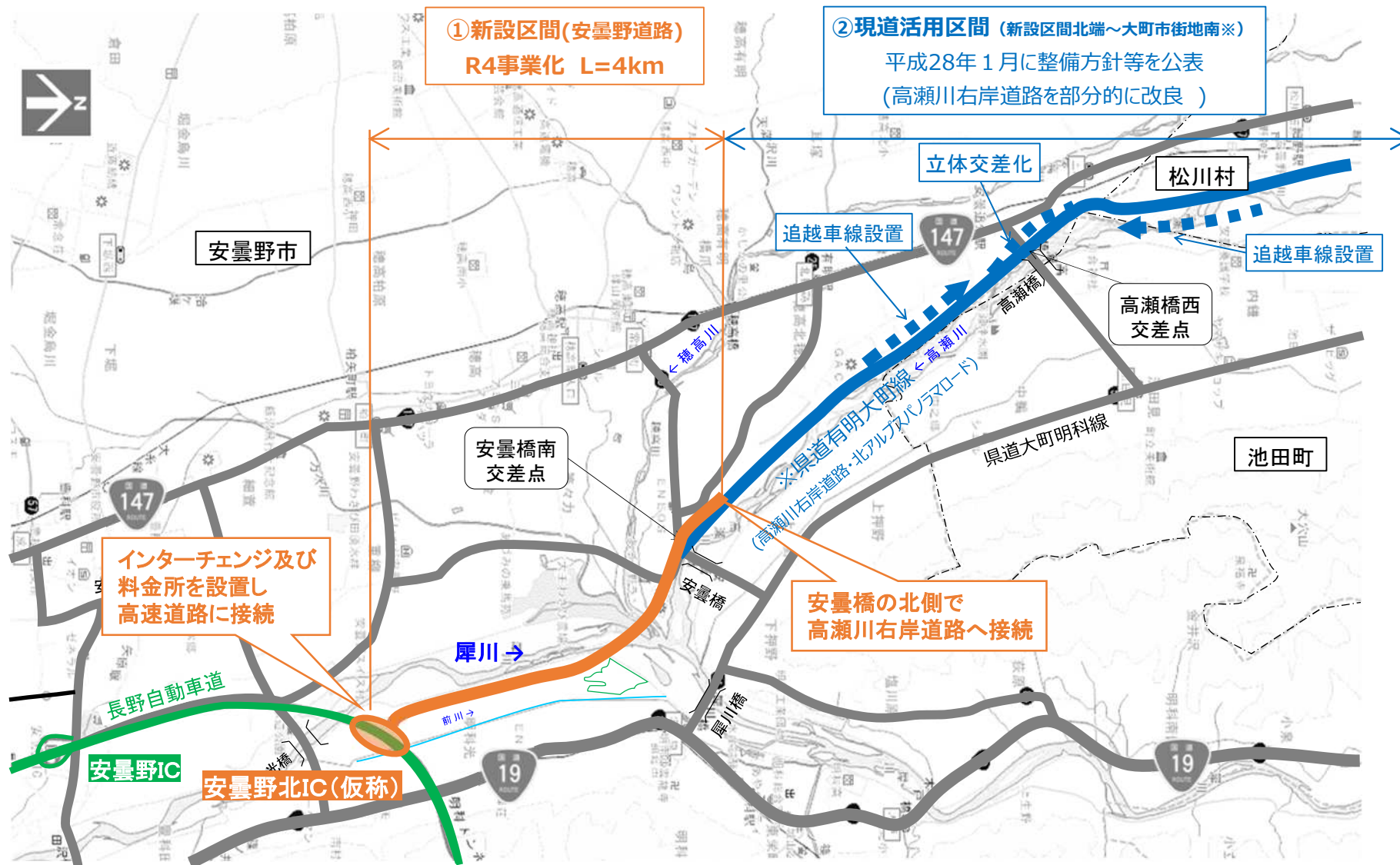
1. 松糸道路の概要 (3) 整備状況

- 安曇野市新設区間である「安曇野道路」が令和4年度に事業化されました。
- 新潟県側でも「山本橋～糸魚川IC」間が平成31年度から事業化されました。
- 白馬村や小谷村の現道活用区間でも、国道148号の改築事業として工事等を実施しています。



1.松糸道路の概要 (4) 安曇野市内の計画(一般道として計画)

これまでは、整備効果を早期に発揮させるため、高速道路につながる「①新設区間(安曇野道路)」の検討を優先的に進め、設計等が具体化してきた。今後、「②現道活用区間」についても、地域の方々と意見交換しながら検討を深めてきたい。



2. 県道有明大町線の現状（1）今後の見込み

- 安曇野道路の整備により、他の道路からの交通の流入や転換が見込まれる
- 現状でも走行性は高いが、地域高規格道路としてのサービス速度※は満足しておらず更なる整備が必要

◆サービス速度※（信号の停止時間や渋滞等も含む実際の走行速度）と道路の種類

●高規格幹線道路（高速道路） 80～100km/h



全国的な高速交通網を形成する自動車専用道路
（長野道、北陸道、中部縦貫道など）

●地域高規格道路 概ね60km/h



高規格幹線道路を補完する交通網を形成する道路
（伊那木曾連絡道路 国道361号権兵衛峠トンネルなど）

●国道147号（松本市～大町市） 約34km/h※



参考）県内を通る一般国道の平均サービス速度 約32.5km/h※

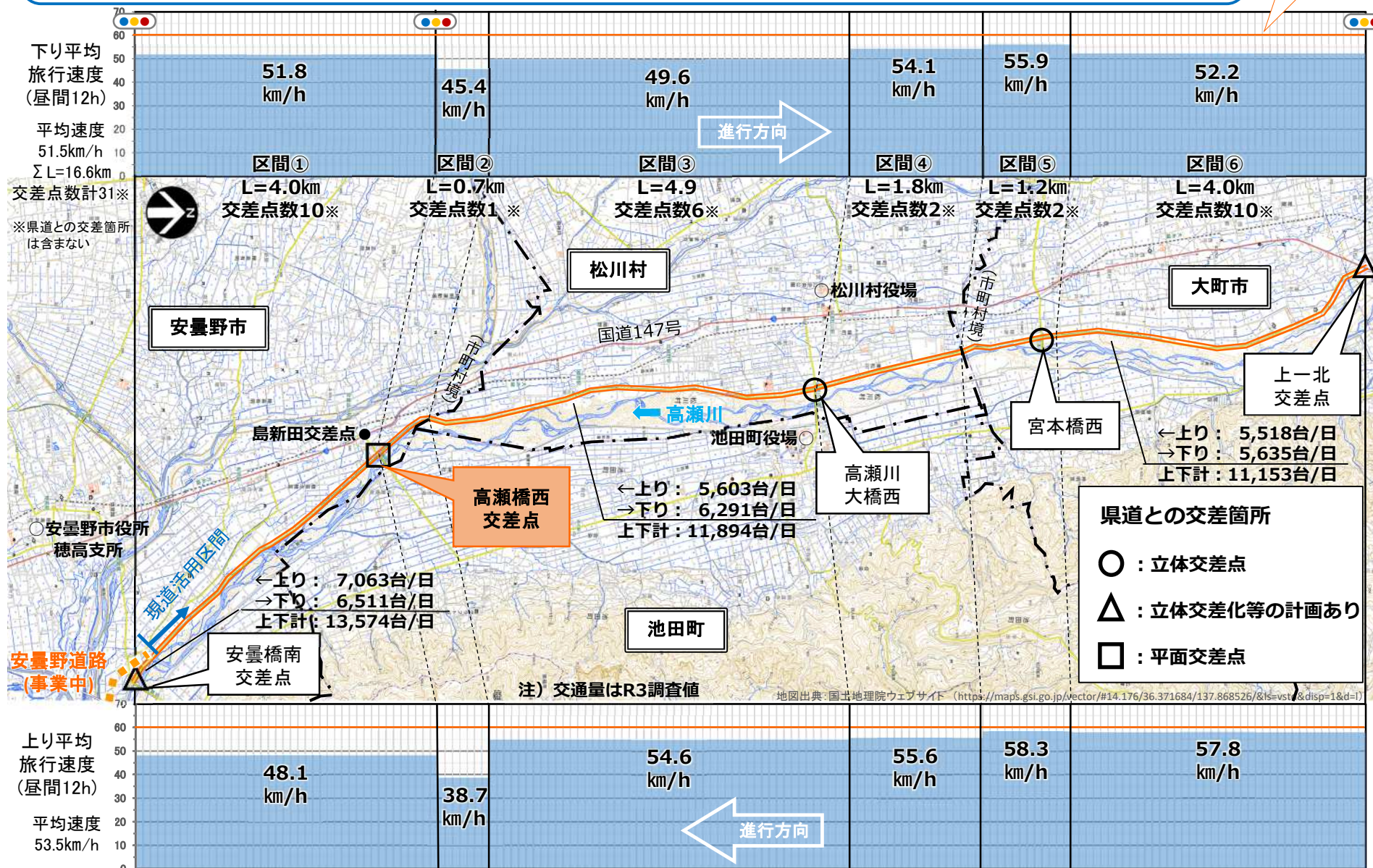
※R3全国道路・街路交通情勢調査（旅行速度調査）より

2. 県道有明大町線の現状（2）サービス速度(実際の走行速度)

○渋滞や信号停止等も含めたサービス速度は60km/hを満たしていない。
 その中でも、速度低下が著しいのは**高瀬橋西交差点**付近である。

○県道との交差箇所のうち、立体交差化等の整備や計画に未着手なのは**高瀬橋西交差点**のみである。

目標とする
サービス速度
概ね60km/h



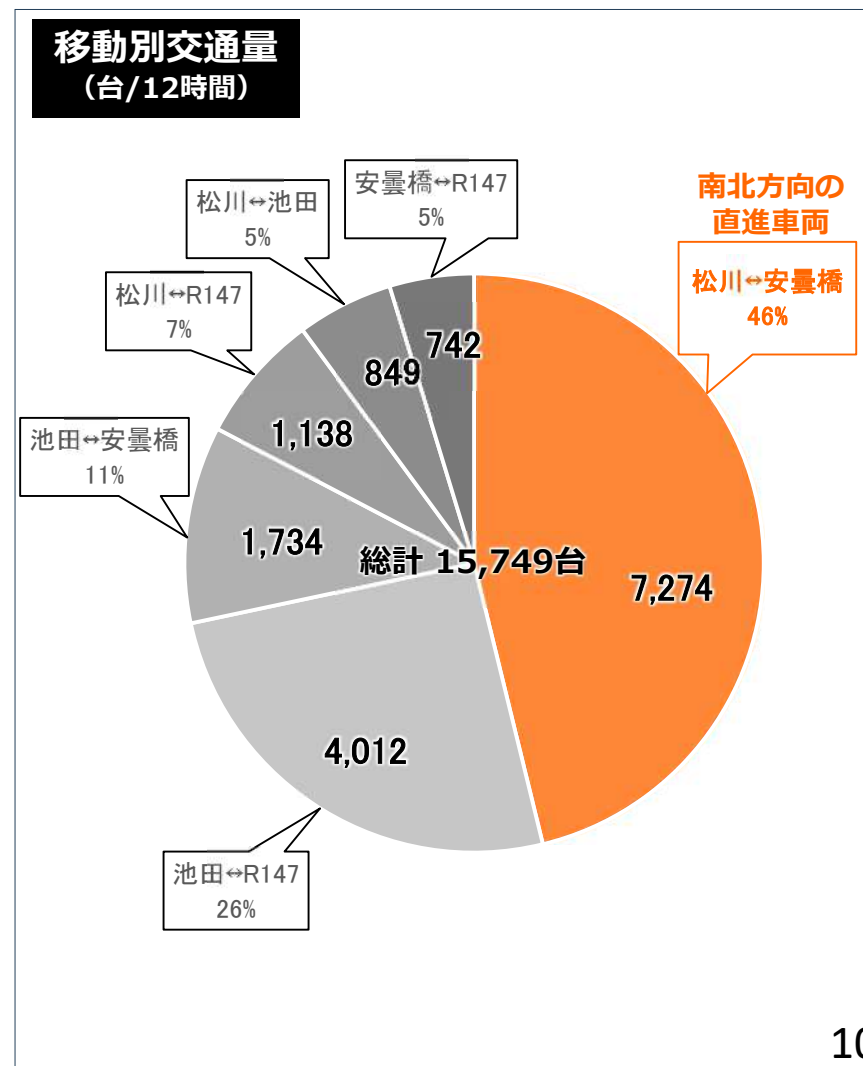
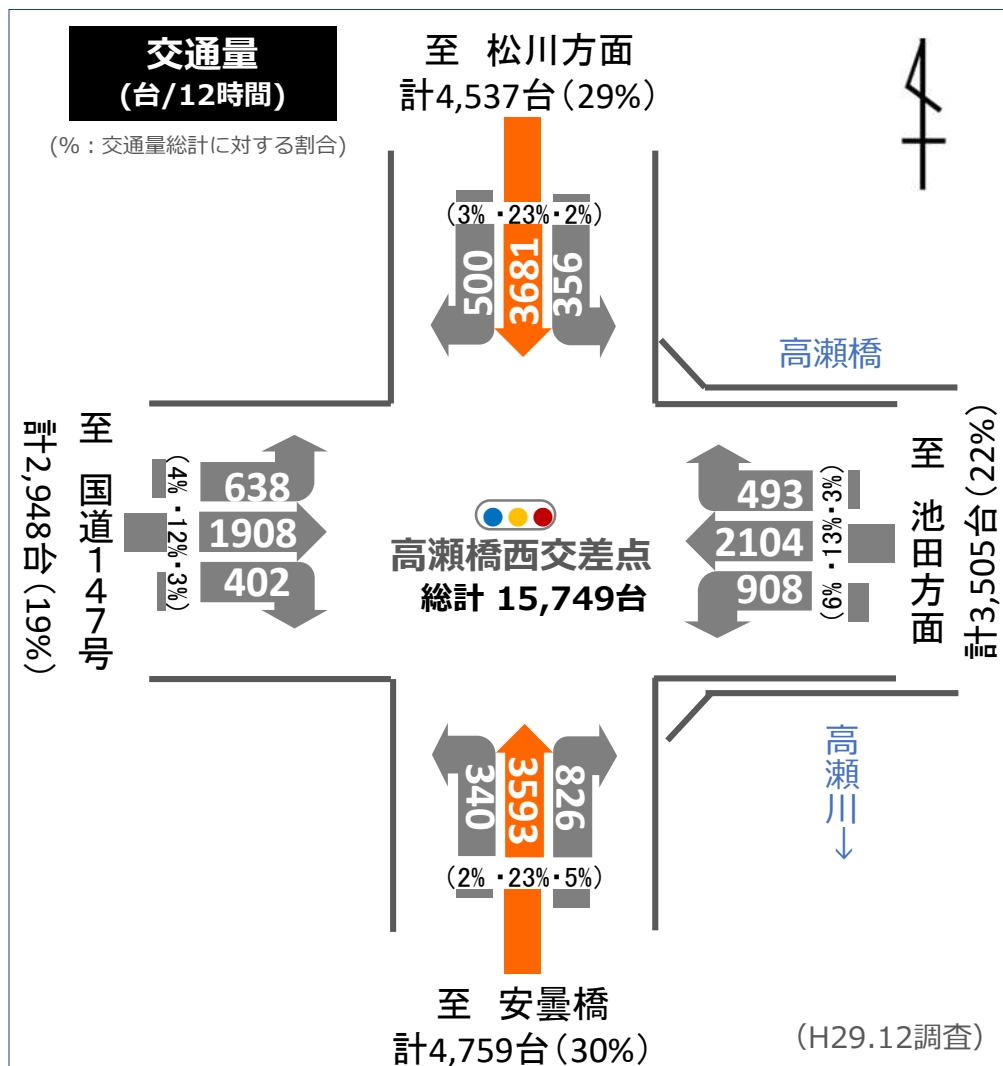
2. 県道有明大町線の現状（3）安曇野市内の交通事故件数

- 市内の県道有明大町線(交差点含む)において、過去5年間(R元年度～R5年度)で26件の交通事故が発生
(26件のうち22件が交差点で発生:松川村や大町市の立体交差箇所では事故の発生件数は比較的少ない)
- 市内の現道活用区間の中で最も交通事故の発生が多いのは**高瀬橋西交差点**である。(過去5年で7件)



2. 県道有明大町線の現状（4）高瀬橋西交差点の交通量

- 高瀬橋西交差点を通過する交通量は約16,000(台/12時間)程度
- 交差点へ流入する車両は、東西方向よりも南北方向からの流入割合が大きい。
- ※立体交差化により南北方向の直進車両(全体の約46%程度)を分離できると見込まれる



3. 県からの提案事項（1）意見交換会の進め方

意見交換会①R7.1.26～1.27

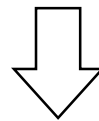
- 松本糸魚川連絡道路(松糸道路)の概要
- 県道有明大町線(高瀬橋西交差点含む)の現状
- 県提案事項(意見交換会の進め方、事業の優先度)

説明



意見

地域のみなさま



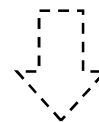
意見交換会②R7春以降（予定）

- 意見交換会①で出された意見への対応
- 県提案事項に関する検討状況
- 検討を具体化する方法等

説明



意見



検討を具体化する調査や設計等を予定

3.県からの提案事項（2）事業の優先度

（整備方針として、平成28年1月に高瀬橋西交差点の立体交差化 及び 追越車線設置を公表済み）

○まずは速度低下等に対して整備効果の高い「高瀬橋西交差点の立体交差化」を優先的に検討したい



参考：立体交差の事例

●オーバースタック：本線(直進車線)が交差道路の上を通る方式

国道148号
大町市
青木湖周辺



●アンダーパス：本線(直進車線)が交差道路の下を通る方式

県道有明大町線
松川村
高瀬川大橋西



◆参考 | 過去の説明会での主なご意見と県の回答(要旨)

●H28.2.11島新田区

意見:松本糸魚川連絡道路は一般道なのか。

回答:一般道となります。また、有料道路ではありません。(安曇野北IC以北は無料で通行可能)

意見:堤防の水田側沿いにある水路は、道路が整備されるとどうなるのか。

回答:道路整備とあわせて、水田側へ水路の付け替え等を行う予定です。

意見:河川敷を利用した整備は検討できないのか。

回答:道路整備により河川を狭めると洪水発生リスク等が高まることから、河川敷利用は考えていません。

●H28.2.15青木花見区

意見:県道有明大町線の計画道路の幅員は国道147号と比べて広いのか、狭いのか。

回答:1車線あたりの幅員は現状が約3.0mに対して、計画は3.25mとしている。

国道147号は1車線あたりの幅員が約3.0~3.25mである。(幅員は概ね同様)

意見:追越車線と高瀬橋西交差点の立体交差化以外の区間は改良しないのか。

回答:現段階で予定していないが、地域との意見交換等を行い、調整していきたい。

●R6.4.18狐島区 (安曇野道路 説明会)

意見:接続する市道交差点からの出入りは出来るのか。

回答:現在接続している市道は可能な限り、現状の出入り機能を維持したい。(詳細は今後検討予定)